

公共事業再評価調書

主管課： 道路建設課

1 事業概要 (整備目的)	事業名： 一般県道 高野川満線道路改築事業			
	事業種別： 一般県道改築事業	事業主体： 沖縄県	当初事業期間： H6～H15	
	事業箇所： 平良市高野 ～下地町川満	根拠法令： 道路法	事業期間： H6～H19	
	総事業費(百万円)： 4,905	費用内訳： 補助9/10	事業量： L=6.0Km W=32.5m,16m	
2 再評価 該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業採択後10年間を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業採択後5年間を経過して未着手 <input type="checkbox"/> ③ 再評価後一定期間(年)を経過 <input type="checkbox"/> ④ 事業の中止 <input type="checkbox"/> ⑤ その他()			
3 再評価に 至った要因 (具体的理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画の長期 <input type="checkbox"/> ⑨ その他() 土地単価不満や名義人死亡等により用地交渉に期間を要した。			
4 事業の 進捗状況 (H15. 3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)
	計画	4,905	6.00	138
	実施済	3,804	3.00	106
	率	78%	50%	77%
5 事業効果の 評価指標 (基準年H15) (検討年40年) (単位:百万円)	① 走行時間短縮	36,030	① 事業費	4,905
	② 走行経費低減	360	② 維持管理費	600
	③ 交通事故減少	440		
	総便益	36,830	総費用	5,505
	基準年換算(B)	15,766	基準年換算(C)	5,638
	費用便益比 (B/C) = 15766 / 5638 = 2.8			
6 事業を巡る 状況の変化	<p>① 社会・経済： 近年、「全日本トライアスロン宮古島大会(S60～)」や、「プロ野球キャンプ(H5～)の定着」等により、宮古島を訪れる観光客は年々増加している。 また、平成14年9月には新たにスタートした沖縄振興特別措置法に基づく観光振興地域として、トゥリバー地域・宮古南岸リゾート地域が指定されている。 このような状況の中で、空港に直結している本路線の整備は重要である。</p> <p>② 地元・自治体： 平成14年4月に、宮古圏域の6市町村による「宮古地区市町村合併協議会」が設置され、合併に向けた取り組みが鋭意行われている。 その将来構想の基本理念である「地域間の連携」を支援するためにも当該路線の整備は重要な役割を担っている。</p> <p>③ 利害関係者： 既に整備した区間については、物件補償や字有地があり交渉で難航していたが、地権者も事業に理解を示すようになってきている。</p>			
7 事業の必要 性・効率性	<p>① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 当該路線の周辺には博物館・植物園があり、地域住民の文化学習の場、貴重な観光資源となっており、そのアクセス機能の強化を図るため有効であり、また、宮古島の東西を結び、比較的開発が遅れている東海岸側の地域振興を支援するため必要である。</p> <p>② 事業の効率性(代替案等の可能性)： 当該計画道路は、生活道路としての利便性・安全性の確保や、観光支援道路としてのアクセス機能の向上のため、現道拡幅により実施しており、用地取得率も約8割に達しているため、現計画の推進が効率的である。</p> <p>③ 事業効果の発現状況： 既に拡幅整備された国道390号から平良城辺線までの区間において、円滑な車両通行により移動時間短縮・交通安全が確保され、また、ゆとりある歩道空間の創造により歩行者の安全が確保されると共に、ジョギングやサイクリングで親しまれている。</p>			
8 今後の対応 方針・見直し	<p>① 事業計画等： 用地取得を速やかに完了させ、予定の事業期間内での供用を目指す。</p> <p>② 対住民関係： 引き続き用地交渉を重ね、速やかな用地取得を目指す。</p> <p>③ 執行体制等： 現在の体制で取り組む。</p>			
9 評価	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			